

ビデオマンの挑戦 (9月号)

八王子映像ビデオマン : Isomitsu Nogami 2019.8.28

8月9日納品完了

私の初仕事の納品は13日に会合があるのでそれに間に合うように8月9日を納品日とした。従って8月8日のビズネット定例会をやむなく欠席させてもらった。(会長さんにはメールにて連絡)

納品に至るまでBDのケース(トールケース)をどこで買うのか、また盤面印刷の用紙はどこなどを矢継ぎ早に副会長に電話で尋ねてサポートを頂いた。インクジェットプリンタ用紙をヨドバシにて印刷後は自分の手でカッターで切る。またトールケースのOPP袋テープ付きの100枚798円もアマゾンで購入。これらは会員の方々がなされている通りにした。BDの印刷は編集物の長さによっても焼き上がる時間が異なる。しかし昨年暮れに購入したマシンPentium9, i78700k メモリー32G, OS W10(ピーシーデポ仕様)2時間~3時間という録画時間の作業もなんのそのプロ仕様のスペックは私の期待を十分に伝えてくれた。インクジェットプリンタ用紙は別の古いマシンで印刷し同時進行を行った。順次焼き上がったBDをケース封入最後にテープ付きのOPP袋に入れた。このディスクを手にしたお客様が高級な品質ディスクであると感じてもらえれば、テープ付きなので見終えたら又袋に入れて保存が出来いつまでも大切にしてもらえるはずだ。盤面の絵もビデオを見たいと思わせる。作文力と構成力でアピール出来た。



企画書

今回の仕事で大切な事は「企画書」である。自分の撮影の意図がプロデューサーに充分伝わらないとまず任せられないと思う。よくビデオを撮るときには5W1Hが大事だと言われます。現場に向かう前に自分のタツイチをしっかりと紙面に残せること。そして企画書の内容通りに撮影する。ビデオマンはどんな状況でも責任を果たすべき最低限のマナーをもって撮影にあたる。私が大切にしているのはビズネットで学んだ事(ホンネ)である。音を大切にしろということもその一つ。セミナーなら講演者の声であります。これがチャンとしていないと・・・今回はメインのカメラをYさんをお願い出来た。彼は音を大切に作る人でマイク20~30万円もするのを何台も持っている。今回はICハンディレコーダーでホールのスタッフに話して、マイクの音をもらえることになった。(Yさんのお手伝い日記より)ICレコーダーを設置されたことであってない明瞭な音が取れた。割れた歪のある音もバックアップ等で対応出来る。

9月からの音楽会のイベント

芸術の秋である。「天高く馬肥える秋」長い夏休みから秩序ある学校生活に戻る生徒を指導する先生方にとっても・大変な月だ。私も誠実にダイレクトメールで営業を展開してゆく所存だ。そうそう9月5・6日はビズネットの研修旅行を控えている。もちろんカメラを持参しICレコーダーZOOM H6を購入しその使い方などを習得してゆく・・・なんだか忙しくなりそう!

To be continued 野上五十満